

し、従来型の集団回収団体に移行する」との答弁があった。今後は団体の意欲を高めていくための報奨金の値上げも検討することだが、進捗状況を伺う。

【環境】本年3月31日をもって事業を終了し、現在登録がある112団体は4月1日付で従来型の集団回収団体に移行する。

また、報奨金については4月回収分より1キロ当たり6円から7円に引き上げるための予算を計上した。

【問】鉄道高架化事業が3年後には完成するが、東口駅前の竹ノ塚第三団地はもとより第一・第二団地の再生も視野に入れ、区北部の玄関口としての機能を検討すべきと考えるが伺う。

【鉄道立体】区・UR都市機構・東武鉄道の幹部による竹ノ塚駅周辺エリア再生検討会を開始した。今後は3者の連携を一層強化し、広い視点から区北部の玄関口にふさわしい機能の充実に向けて検討を進めていく。

【問】待機児童解消のためには、預かり保育を実施している幼稚園は貴重であり、これまで以上に協力が不可欠である。預かり保育に取り組む幼稚園に対する支援については、どのように考えているのか。

【子ども】長時間・定期利用の預かり保育を実施する幼稚園に対して、保育園の保育士を対象に実施している住居借上げ支援、奨学金返済支援と同等の補助を平成31年度予算案に計上した。

【問】野田市の事件を通し、改めて虐待対応における関係機関との連携の重要性とともに、保護者による威圧的な要求への対応の課題が明らかになった。要保護児童にかかる情報管理を徹底し、関係機関が一体となって子どもの命を第一に考える取り組みを図るべきと思うがどうか。

【教育長】平成31年2月8日の児童虐待防止対策に関する関係閣僚会議の内容を踏まえ、「資料は提供しない」「威圧的な要求には屈しない」「複数機関で対応する」ことを、臨時の要保

めて虐待対応における関係機関との連携の重要性とともに、保護者による威圧的な要求への対応の課題が明らかになった。要保護児童にかかる情報管理を徹底し、関係機関が一体となって子どもの命を第一に考える取り組みを図るべきと思うがどうか。

【教育長】平成31年2月8日の児童虐待防止対策に関する関係閣僚会議の内容を踏まえ、「資料は提供しない」「威圧的な要求には屈しない」「複数機関で対応する」ことを、臨時の要保

日本共産党足立区議団

小さな命に未来を！

くらし応援の区政へ転換を

日本共産党 ぬかが 和子 議員



護児童対策地域協議会を開催し、関係機関に周知徹底していく。併せて、連携のスタートとなる様々な虐待通告や相談が、児童相談所や区に適切に入るよう働きかけていく。



消費税10%増税の影響と対策は

【問】①増税が区民生活と地域経済に影響ないと考えているか。②業務委託人件費の増税分は、委託しなければ必要ないが、支出に責任を感じないか。③増税を行わないことが一番の景気対策だと思いませんか。

【政策経営】①消費税増税の影響がないとは考えていない。②委託の方がコストメリットを見込める等、合理的と考える。③増税に伴う景気対策に課題があることは認識しているが、引き上げはやむを得ないと考える。

ごみ戸別訪問収集は23区最低だ

【問】対象を極端に限定し、高齢者施策一覧にも掲載がない。ケアマネージャーも知らず、制度が機能していない。障害者等へ拡大や周知すべきだがどうか。



【環境】個々へ柔軟に対応するために対象見直しが必要である。ごみ出しの困難状況を考慮して検討すると同時に、ケアマネージャーへ周知等を行っていく。

国民健康保険の負担は重すぎる

【問】①均等割を無くして保険料を社会保険並みにするよう国等に働きかけるべきか。②新年度の保険料値上げは認めない。値上げストップを区長会等で働きかけるべきか。③廃止は働きかけない。

が、低所得者や多子世帯の負担軽減等を国や都へ要望していく。②一貫して値上げストップを働きかけてきたが、統一保険料堅持の立場から、値上がり案を認めざるを得なかった。

虐待を防止して社会の宝を守れ

【問】①児童相談所から親元に帰った児童の見守り等は、抜本的な充実が必要か。②来年度以降も専門職員を児童相談所に派遣すべきか。③寄り添い型支援を行う専門職員は非常勤ばかりで人材流出している。改善すべきか。【げんき】①一時保護を解除し、家庭復帰させる場合のコーディネート等を着実に実行することが支援の充実につながるかと考える。②来年度以降も福祉職を派遣し、今後は心理職も派遣していく。③条件の有利な常勤職員等へ転職していく現状は認識しているため、新年度は4名常勤化した。今後も支援と体制強化に努める。不登校支援は寄り添い型で

虐待を防止して社会の宝を守れ

【問】①児童相談所から親元に帰った児童の見守り等は、抜本的な充実が必要か。②来年度以降も専門職員を児童相談所に派遣すべきか。③寄り添い型支援を行う専門職員は非常勤ばかりで人材流出している。改善すべきか。【げんき】①一時保護を解除し、家庭復帰させる場合のコーディネート等を着実に実行することが支援の充実につながるかと考える。②来年度以降も福祉職を派遣し、今後は心理職も派遣していく。③条件の有利な常勤職員等へ転職していく現状は認識しているため、新年度は4名常勤化した。今後も支援と体制強化に努める。不登校支援は寄り添い型で

不登校支援は寄り添い型で

【問】①少人数学級を区の加配により実現すべきか。②教員の欠員が年度当初から補充できていない。新年度は欠員をなくすべきか。③NPOと連携した居場所を兼ねた学習支援は、4拠点すべてで実施すべきか。④別室登校に人を配置し、子どもに寄り添うべきか。【SSW】①SSWは1人が3中学校区担当では十分機能しない。中学校区1名にすべきか。②保護者が悩み相談できる場がなく、情報共有や励まし合える仕組みの構築が必要か。【教育指導】①小学校1・2年

医療的ケア児の支援が足りない

【問】①実態把握では当事者や関係団体から、きめ細かな聞き取り調査をすべきか。②区にコーディネート機能がなく、保護者が必死で情報を集めている。ニーズは状況で異なり、早急に機能が必要か。③児童発達支援事業所は区内4カ所あるが、看護師配置が十分でない。重症心身障害児等の受入体制を拡充すべきか。④在宅レスパイト事業は区内2事業所でしか利用できない。医療的ケア児が利用する訪問看護事業者と連携すべきか。【福祉】①6月開催予定の協議会で具体的な内容等を検討する。②都研修の参加職員を中心に担当部の連携や相談支援事業所の育成を行い、機能強化に努める。③各事業所での人員配置基準遵守を確認するとともに、利用者等の意見を伺いながら支援する。④来年度4カ所に増える予定である。今後も訪問看護事業所の会合等に参加し、事業者等と連携を図りながら拡大に努める。【げんき】⑤活用中だが、看護師確保等の課題を協議していく。【図書館】⑥西新井・綾瀬等の駅周辺に図書館の施設誘導で、ま



生と中学校1年生で実現し、さらに教員加配等できめ細かい指導実現に努めているが、十分とは考えていない。人材動向を見極め、さらなる方策を考える。②補充が遅れたため、都教委に早期配置を繰り返し要望してきた。新年度見直しは不透明であるが、定数確保を要望していく。【げんき】③成果や課題を検証した上で判断していく。④配置学校数増に向け、広報等での人材募集等で体制強化する。⑤来年度は常駐拠点を3カ所にして支援頻度を増やすため、全中学校への配置は考えていない。⑥来年度、不登校の悩みを持つ保護者対象のセミナーを開催予定であり、機会を構築していく。

足立区議会立憲・民主の会

予防接種、舎人ライナー、放火、東京オリパラを問う

立憲・民主の会 米山 やすし 議員



【問】①感染拡大の防止や子育て世帯の経済的負担軽減等のため、子どものインフルエンザ予防接種への助成を望むか。②おたふく風邪も難聴の後遺症を思えば、就学前の予防接種への助成を望むか。【衛生】①小児インフルエンザ予防接種は、流行を抑止するデータは十分ないとされ、法定接種の対象から外れた経緯がある。今後も国の動向や他区状況を注視していくが、現時点において、区として接種費用の助

成を行うことは考えていない。②現在、法定接種の対象とされている。今後も国の動向を注視していくが、ワクチンの安全が確認され法定接種化になり次第補助の開始を検討していく。



ちづくりを進める考えはないか。【地域】まちづくりの核として何がふさわしいか、地域特性や社会情勢等を踏まえ検討する。【西新井駅の課題改善への決意は】①駅から栗六陸橋間は東西分断され、陸橋耐震工事でもエレベーター設置等が検討されなかった。駅西口もエレベーター一基だけで、今後の見直しも弱い。弱者にやさしい通行確保へ、真剣に取り組みすべきか。【道路整備】駅から陸橋間の人道橋等は、更新時に費用対効果を検証しながらエレベーター設置の可能性を検討していく。【市街地】駅西口改善は、ビル建替えに合わせたエレベーター設置等が最善と判断しているため、東武鉄道と協議を重ねる。

用語解説

*SSW: スクールソーシャルワーカーの略称。児童・生徒の環境等を考慮しながら、関係機関と連携して支援する社会福祉の専門家

用語解説

*在宅レスパイト事業: 訪問看護師等を自宅に派遣して一定時間医療的ケアを提供するもの

*停電があったため、途中で映像が終了します。続きはこちらをご覧ください。